

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：地域振興対策費

事業名 清流の国ぎふづくり推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

総合企画部 地域振興課 地域プロモーション係 電話番号：058-272-1111(内2545)

E-mail：c11143@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,048 千円 (前年度予算額： 4,351 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,351	0	0	0	0	0	0	0	4,351
要求額	5,048	0	0	0	0	0	0	0	5,048
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・岐阜県の魅力を県内外に広く周知するため、県の公式マスコットキャラクターであるミナモを活用したデザインやグッズの制作、展開が必要。
- ・また、実際にミナモを知ってもらう機会としてのイベント等で使用できるミナモの着ぐるみ管理も必要。

(2) 事業内容

ミナモを活用した広報啓発 等

- ・ぬいぐるみ等広報物の購入
- ・ミナモデザイン、ミナモグッズの制作
- ・ミナモ工房認定校PRグッズ制作資材
- ・ミナモ着ぐるみパーツの修理、製作

(3) 県負担・補助率の考え方

県政の広報啓発であることから、県10/10負担

(4) 類似事業の有無

無

事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	250	職員旅費
需用費	326	ミナモグッズ（広報啓発用）の購入費 等
役務費	1,552	着ぐるみ補修、クリーニング、発送代 等
委託料	2,920	ミナモを活用した広報啓発費 等
合計	5,048	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 「清流の国ぎふ」の文化・芸術の創造・伝承・発信

(2) 後年度の財政負担

岐阜県の魅力を打ち出し、地域の活力を生み出していくため、継続して機運の醸成を図っていく。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

広報・啓発事業等により、岐阜県の魅力を打ち出す地域づくりに取り組む機運の醸成や体制の整備を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①「清流の国」 商標の使用件数	一件 (H一)	145件	176件	191件	206件	78%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ●「清流の国ぎふ」広報・啓発 ミナモグッズ（広報啓発物）作成・配布、着ぐるみミナモの補修 ●「清流の国」商標使用実績（新規申請） 10件 ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果 「清流の国ぎふ」広報・啓発事業等により、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりに取り組む機運の醸成や体制の整備を図った。
	指標① 目標：163 実績：131 達成率：80.4 %
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ●「清流の国ぎふ」広報・啓発 ミナモグッズ（広報啓発物）作成・配布、着ぐるみミナモの補修 ●「清流の国」商標使用実績（新規申請） 8件 ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果 「清流の国ぎふ」広報・啓発事業等により、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりに取り組む機運の醸成や体制の整備を図った。
	指標① 目標：146 実績：139 達成率：95.2 %
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等） ●「清流の国ぎふ」広報・啓発 ミナモグッズ（広報啓発物）作成・配布、着ぐるみミナモの補修 ●「清流の国」商標使用実績（新規申請） 6件 ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果 「清流の国ぎふ」広報・啓発事業等により、みんなが主役の「清流の国ぎふ」づくりに取り組む機運の醸成や体制の整備を図った。
	指標① 目標：161 実績：145 達成率：90 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価) 2	本県で開催した「全国植樹祭(H18)」、「全国豊かな海づくり大会(H22)」、「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会(H24)」を通し高まった、岐阜県への誇りや愛着を定着させ、岐阜県の魅力を打ち出す機運を県民総参加により継続させていくことが必要。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり)

2 : 期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成)

1 : 期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%)

0 : ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)

(評価) 2	「清流の国」商標の使用について、引き続き新規申請があり、成果があがっていると考えられる。
-----------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価) 1	次年度の主なイベントを勘案してグッズ製作数を調整し、年間を通した配布が行えるよう実施している。
-----------	---

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県政の方向性に合わせ、マスコットキャラクターの運用を行う必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

引き続き、広報・啓発事業等により、岐阜県の魅力を打ち出し、地域の活力を生み出す取り組みの機運の醸成を図る。